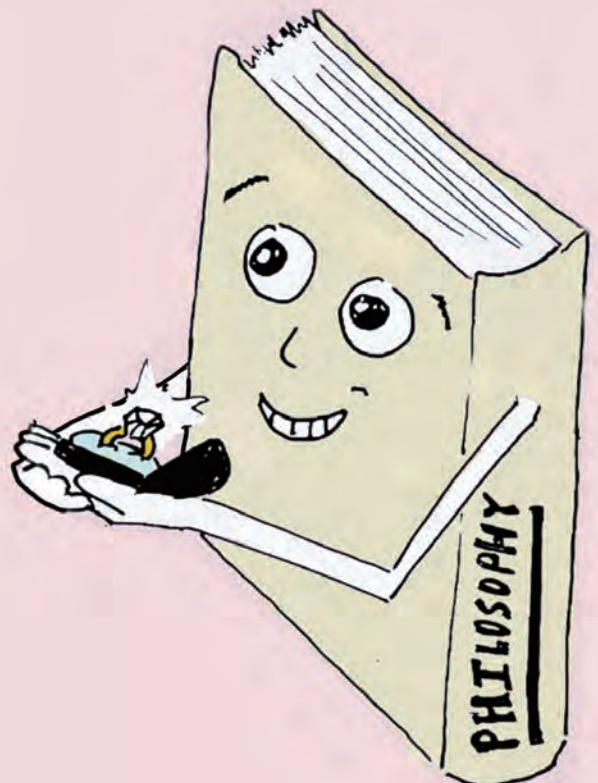
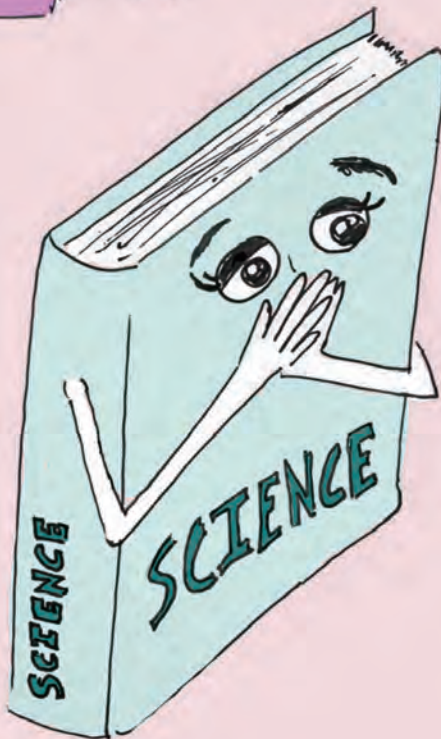
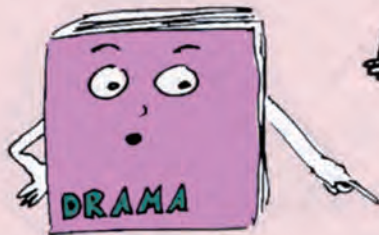


# 葛野 の鐘

vol. 31  
2024.APRIL

館長からのメッセージ  
わたしと図書館  
学Booo①  
貸出ランキング  
オープンライブラリー  
わたしのすすめる1冊  
わたしの本棚  
学Booo②

京都光華女子大学図書館報  
Kadono - no - Kane



## 館長からのメッセージ

まず、次の文章を読んで下さい。

新年度が始まりましたことをお知らせいたします。皆様にとって、充実した一年となりますよう心より願っております。引き続き、図書館をご利用いただき、知識や情報の共有の場として活用していただければ幸いです。一緒に素晴らしい図書館を作り上げていきましょう。

読んでみた感想は、いかがですか。「あっ、わかった!」という方は、トレンドに敏感で新しいモノ好きの気質があります。

この文章は、「図書館長の新年度の挨拶を作ってください」という指示を生成AIに出して返ってきた結果です。いま、ChatGPTに代表される生成AIが、ものすごい勢いで広がりを見せています。教育の場では多くの大学が利用指針を定めています。もちろん本学も「生成AI利用の注意点」を公開しています。

AIが答えた文章は、一見するところ、内容も言葉づかいも、整っていて自然です。ならば、これでいいではないか、自分で頭をひねって作文する時間を節約できるし、もしかしたら自分よりも良い意見を言っているかも…。しかし、はたしてそうでしょうか。

国語学者の渡辺実氏は、コミュニケーション言語には2つの種類があると指摘します。ひとつは事柄(コト)を伝える言語、もうひとつは感情(ココロ)を伴って伝える言語です。TVニュースはコトを伝える場面であり、標準語がふさわしい。一方の日常生活はココロを伝え合う場だから、地方地方で使われる方言が欠かせないと言うのです。

生成AIの回答と自分で考えて作った文章は、ちょうど、コミュニケーションにおける2種類の言語にあたると思います。AIの回答は、たしかにきちんとしています。でも、なんだかよそ行きの装いのように見える。コトは伝わるけれども、ココロがあまり感じられません。

AIの回答が言うとおり、図書館は「知識や情報の共有の場」です。しかし、その情報を生きたモノとして活用するのは人のココロです。生成AIの広がりを目の当たりにして、これからの図書館の使命は何かを考えると、情報とともに、人の立場に即して、情報の適切な利用法を提案することが大切だと思うのです。

あさひな ひでお  
図書館長 朝比奈 英夫  
キャリア形成学科



## 寄贈図書リスト

現・旧教職員ほか(2023年1月~12月受入寄贈者の五十音順・敬称略)

- |                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| ◎ 世界を変えた10冊の本(文春文庫) ほか               | 伊藤美加  |
| ◎ 学研ことばえじてん ほか                       | 永本多紀子 |
| ◎ 闇の左手(ハヤカワ文庫) ほか                    | 奥和子   |
| ◎ 悪女(わる)(講談社漫画文庫)                    | 加藤千恵  |
| ◎ エビデンスに基づく小児看護ケア関連図 ほか              | 山本裕子  |
| ◎ 学校におけるがん教育の考え方・進め方 ほか              | 諏澤ひろえ |
| ◎ 図書館のプロが伝える調査のツボ ほか                 | 西孝一郎  |
| ◎ 集団の精神病理 ほか                         | 千野美和子 |
| ◎ リハビリテーションの新展開:21世紀への60の提言 ほか       | 瀧澤透   |
| ◎ Toro's story: magic tree adventure | 田縁真弓  |
| ◎ センネン画報[その1]                        | 藤原佳那  |

## 寄贈図書の紹介

### 「Mabuting Loob Atsuko Nambu : A Filipino Memory」



陸上競技で功績を残した卒業生 糠沢(旧姓 南部)敦子さんが、1954年フィリピン、マニラで開催されたアジア大会で活躍され、それに感銘を受けた川上 アルボレーダ・アマデオ氏が長い年月をかけて追跡して、執筆された英文の本です。前書きはご息女で卒業生藤原(旧姓 糠沢)直美さんが執筆されています。著者の方から寄贈していただきました。

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| ◎ 内部障害のリハビリテーション医学・医療テキスト ほか | 藤竹純子 |
| ◎ カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術第2版 ほか  | 灘久代  |
| ◎ おのまとべの本                    | 木戸美幸 |
| ◎ だれでもデザイン:未来をつくる教室 ほか       | 濱田明美 |

この他にも学外の方から多数の図書を御寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。



# わたしと図書館

LIBRARY



## 神秘性と勤勉性と癒し —多様性に満ちた存在—

誰も一度は踏み入れたことがあり、どんな地域にも  
肅然と存在する場所。

図書館とは、それぞれ独自の思い出やイメージが集積  
する存在ではないでしょうか。都市部でも田舎部でも、  
日本でも海外でも、公園でも施設でも、建物でも小さな  
お部屋でも、図書館は様々な形態で存在します。ただ  
膨大な書籍と情報が集積され、事務的に言えば情報の  
蓄積と交付が主な役割のはずですが、それ以外の  
目的で足を運ぶ人の方が多いのではないのでしょうか。

私にとって図書館は、幼い頃からなじみ深い存在  
でした。「文化ゾーン」と呼ばれる広大な公園の一面  
に古風で瀟洒な建物としてどっしりと構えていて、扉  
をくぐれば噴水の涼やかな水音と観葉植物が放つ  
爽やかな空気を感じました。何より、入館した瞬間、  
「しん」という音が聞こえそうなほどに、静けさを感じ、  
子どもながらにちょっと背伸びをして、大人びた振る  
舞いをしようとしたものでした。

今も昔も、広大な図書館をゆったりと歩くときには  
気持ちの穏やかさやリラクセーションを感じます。  
見渡す限りの書籍や読書に没頭する人々を目の  
当たりにすると、ある種の畏敬と尊敬を感じて、「頑張  
ろう」との前向きな気持ちがいんわり湧くを感じます。  
私個人は、ファンタジー小説や時代小説、絵本など  
が好きなので、まさに幻想的で夢のある時間を過ご  
せる場でありました。一方で、中学生以降は、試験勉  
強などでしばしば通った思い出もあるので、勤勉性  
や前向きに頑張る力を培われる場所の印象もあります。

電子媒体で手軽に情報が手に入る御時世ですが、  
だからこそ、図書館に足を踏み入れると新たな気づき  
がきっとあるでしょう。よろしければぜひ。



たにもと たくろう  
谷本 拓郎 先生  
心理学科

## 生涯にわたる学びを支え、 豊かなこころを育む図書館

今の社会では、一人ひとりの自己判断による選択、そ  
のことに對する自己責任が求められる傾向が強くなっ  
てきています。そこで、学生のうちだけでなく、生涯にわた  
って主体的に学び続けることが必要になってきました。  
図書館は、この「生涯学習(Lifelong Learning)」を  
支える場所として重要な役割を持っています。

私は外国人留学生として日本での暮らしを始めま  
したが、図書館は、大学の試験やレポートに追われて  
必死に勉強に励んだ場所でもあり、まだ日本の生活  
に慣れない時に気軽に訪れてゆったりと時間を過ご  
す場所でもありました。日本語が上手に話せなかつ  
た頃、休みの日に図書館に行って、よく小説を読んで  
いました。小説には、その国の言葉だけでなく、人々  
の考えや文化までが現れていて、日本という社会を  
より理解することにもつながりました。

多様な価値観を持った人たちが共存する今の社会  
では、他者の感情や経験など、自分と異なる視点から  
物事を理解して、より柔軟な思考を持つことが求められ  
ます。このような「エンパシー(共感力)」を高めることは、  
人生における数々の出会いから真の信頼関係を築い  
ていくことにもつながるでしょう。私にとって小説を読む  
ことは、様々な国や時代を生きた人々の人生を間接体  
験する経験でもありました。胸を躍らせながら主人公  
の気持ちに寄り添って物語を追うことで、未だ知らない  
世界や感情、考え方にも気づくことができました。

皆さんも、単調な毎日からの冒険として、図書館に  
足を運んで、小説を手にとってみてはどうでしょうか。



ぜん きょうわ  
全 京和 先生  
こども教育学科

# マナブー 学Booo①

マナブー  
学Booo  
Learning Community

ラーニングコミュニティ、通称『学Booo(まなぶー)』は、自分の興味や関心のあるテーマを選択して学ぶ、自由参加型の学習グループです。

## 絵本から英語を学Booo@ラーニングルーム

2023年後期から始まったこちらの学Boooでは、こども教育学科の田縁眞弓先生とザック先生と一緒に、英語絵本を通して海外の文化を学び、実際に体験しています!また英語の絵本を自分自身の言葉で翻訳する体験もしています。これら2つの体験を通して簡単な英語から始めるので、楽しんで英語を学ぶことができます。

### 10月23日(月) #ハロウィン



第1回目は「ちょっと早いハロウィンパーティー」と題してKick off gathering!を開催しました。ドレスコードは「黒かオレンジのものをどこかに身に付けてくる」でした。ザック先生のハロウィンをテーマにした英語絵本の迫真の朗読のあと、「Trick or Treat」と言ってお菓子を配って食べました。



### 11月20日(月) #サンクスギビング



第2回目は「英語絵本とサンクスギビング」。サンクスギビングはいついどこから始まったのか?どんなものを食べるのか?サンクスギビングデーにたべる食事のひとつに七面鳥の丸焼きがあります。それに模したチキンとクランベリーソースを田縁先生が手作りして持ってきてくださり、みんなでおいしくいただきました!



### 12月11日(月) #クリスマス



第3回目は「英語絵本とクリスマス」。クリスマスは欧米各国でどんな風にお祝いするのか?プレゼントは?どんなものを食べるのか?ジンジャークッキーやクランベリージュースなどクリスマスにちなんだお菓子のなかからクランベリージュースを今回も田縁先生が手作りしてきてくださり、とてもおいしく参加者に好評でした!!またこの日はみんなで「An elephant & piggie book」の絵本の翻訳に挑戦しました!



みんなはどんな本を読んでいたの?今回は一般書(専門書・問題集等を除く)と、こども教育学科のランキングを発表します!

## 一般書ランキング

- 1 変な家  
雨穴 著  
1階学生選書コーナー 913.6/Uket
- 2 Shrink : 精神科医ヨワイ 01~04  
(ヤングジャンプ・コミックス GJ)  
七海仁原作 / 月子漫画  
1階学生選書コーナー 493.7 S/NaJi/1~4
- 2 変な絵  
雨穴 著  
1階学生選書コーナー 913.6/Uket
- 2 汝、星のごとく  
凧良ゆう 著  
3階閲覧室 913.6/NaYu



## 図書館貸出ランキング RANKING

### こども教育学科 ランキング

- 1 はらぺこあおむし 改訂版  
エリック・カールさく / もりひさしやく  
1階絵本コーナー 726.5/CaE/(t)
- 1 14ひきのあきまつり  
いわむらかずおさく  
1階絵本コーナー 726.5/IKa/8
- 3 おべんとうバス  
真珠まりこ作・絵  
1階絵本コーナー 726.6/ShMa



同率2位が6作品ありました。ランキング中に2冊も雨穴さんの小説がランクイン!「Shrink : 精神科医ヨワイ」は学生選書で選ばれた本です。人気がありますね。「汝、星のごとく」は2023年本屋大賞受賞作です。

上位がすべて絵本で占められたこども教育学科のランキング。同率1位は「はらぺこあおむし」と「14ひきのあきまつり」!エリック・カールさんの他の作品も、いわむらかずおさんの「14ひきのシリーズ」も人気がありました。

## 第3回オープンライブラリー 絵本で知る世界の国々 ことば・ひと・つながり

2023年9月28日(木)から10月14日(土)にわたり、図書館1階閲覧室にてIFLA(国際図書館連盟)が国際子ども図書館に寄贈した世界43カ国、365冊の絵本を展示しました。本学学生、一般の方まで多くの方にご来場いただきました。

絵本を通して、世界の文化や習慣に触れ理解することは、SDGsに謳われている、人権の尊重や平和について考えるグローバルな視野を持つことにつながります。関連イベントも併せて、“ことば”をテーマにした広がりのある展示を通し、来場者の方に絵本の魅力を感じていただけたと思います。



イベント  
1

### 英語と日本語の絵本を比べてみよう!

同タイトルの作品と一緒に展示しました!



図書館では英語の絵本とその翻訳本を長年にわたり収集してきました。現在およそ2500冊を所蔵し、英語・日本語共に揃っているのは約360タイトルです。今回はその一部を展示しました。同じタイトルで言語の違う作品から、文化を反映したことばの違いを知ることができます。

イベント  
2

### 9月30日(土) 英語絵本のストーリーテリングから英語をまなぼう



こども教育学科の田縁眞弓先生とゼミの学生2名によるストーリーテリングが行われました。Learning by Storytelling という指導法を通し英語に十分に慣れ親しみながら、お話の中で想像力を膨らませます。子どもたちはストーリーをカードを使って並び変えて辿り、そこで話された英語の表現を使って自分でも英語で説明することができていました。

イベント  
3

### 10月7日(土) 学生・スタッフによる絵本の読み聞かせ



当日は午前と午後に分けて計3回の読み聞かせイベントを行いました。担当したのは、公共図書館で絵本の読み聞かせ経験のあるスタッフと、認定絵本士の資格を持つこども教育学科の学生3名です。認定絵本士の学生へは朝日新聞から取材申し込みがあり、10月5日朝刊に「世界の絵本 大学生が案内」というタイトルで掲載されました。読み聞かせをした学生からは「子どもたちのみならず多くの人に絵本の良さを知ってもらいたい」「子どもたちの様子を見て読み聞かせの本を選ぶという、今までない環境の中で臨機応変に対応する力がみについた」など、よい経験になったとの感想が寄せられました。

## わたしのすすめる1冊

MUST READ



## 『青空と逃げる』



『青空と逃げる』  
(中公文庫)  
辻村深月 著  
中央公論新社  
(1階学生選書コーナー)



にしかわ あきこ  
西川 秋子 先生  
看護学科

子供のころから本を読むのが大好きで毎日図書館に通っていましたが、大人になってからは仕事が忙しく、月に一冊読むかどうかになっております。しかも仕事に役立つ実用書であることしばしば、というかほとんどそうです。今回は図書館様から「私のすすめる1冊」のご依頼を頂戴し、久しぶりに本業を離れた読書をする事ができました。ありがとうございました。

辻村深月さんの「青空と逃げる」を選びました。本作者さんの小説は「朝が来る」「かがみの孤城」「傲慢と善良」と近年の3作を読んでいたことに、読了後に気がつきました。私は本を買ったり借りたりする際にはタイトルで選ぶので、辻村さんの小説のタイトルに惹かれるためだと思います。本作品「青空と逃げる」もそうで。青空と逃げるって何?って思いませんか。そんな動機で本作品を読みました。

さて、小説「青空と逃げる」です。夫婦と子供一人の三人家族がある不可解な事件をきっかけにして、父親、母親と小学生の息子の二手に別れて逃げることとなります。小説は母親と息子が転々と居をかえて逃げつつ、たまたま居ついた場所での人間関係や母親と男児の内面の変化をスピード感をもって描いていて、先が気になって気になって一気に読んでしまいました。母親と息子がお互いを頼りにしあって・・・と思いきや。あまり書くとネタバレになるのでこのあたりで。

辻村さんの作品は次々と映画化されています。私は読んでから観る派です。みなさんはいかがですか。この「青空と逃げる」もおそらくそうなるでしょうから、読んでから観る派の方はぜひお早めにお読みくださいね。

## 『青春漂流』

「一度は挫折し、方向転換した若者たち。その大胆な選択が成功だったかどうかを、語ることはまだ出来ない。何しろ彼らは、迷いや惑いの青春の真ただ中にいるのだから」

これは、1988年に発刊された「青春漂流」の確か、帯に書かれていた内容かと思います。本の構成は、著者と登場人物11人の一対一の対談がまとめられたものです。私が大学生時に伯母がくれたもので、当時は著者も知らず、「漂流ね～」くらいに読み始めましたが、登場人物は皆、器用とは言い難い生き方をしており、モラトリアム真っ只中であつた自分には妙に響いたのを覚えています。後にテレビなどでよく見かけるようになった人も何人かいて、「皆、もがきながら進み、スマートなやり方はないんだ」と恥ずかしくなった思い出があります。

若い時にはありがちですが、当時の私は不器用さを「格好悪い」ことと捉え、他人には隠す癖がありました。それは人目も気にならないくらいには無我夢中になれず、中途半端を自覚しつつも打破する勇気も持てないという、いわゆる「中途半端君」でした。

「読んでみー」と何気なく渡した伯母でしたが、フワフワした私の内面を見事に射抜いた伯母なりのアドバイスだったのかな・・・と当時の伯母の年齢近くになった私はしみじみと読み返しました。そして、フワフワした私の状況を母親は姉に相談していたに違いない・・・とまた恥ずかしくなりました。

登場人物は皆、男性ですが、笑える内容もあるので機会があれば手に取って見て下さい。

『青春漂流』  
(講談社文庫)  
立花隆 著  
講談社  
(2階文庫コーナー)



おおはし よしひろ  
大橋 良浩 先生  
福祉リハビリテーション学科 言語聴覚専攻

# わたしの本棚

MY BOOKS

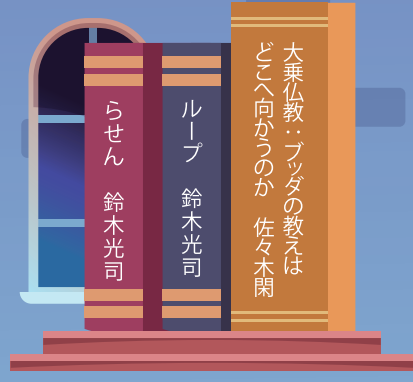
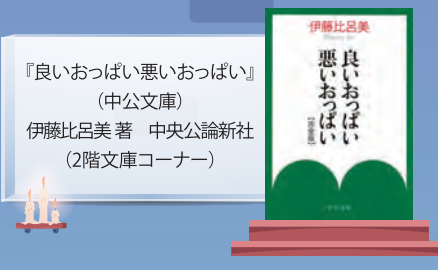
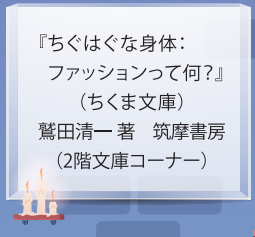
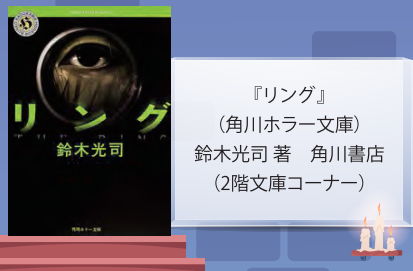
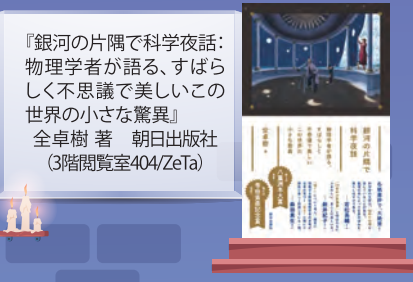
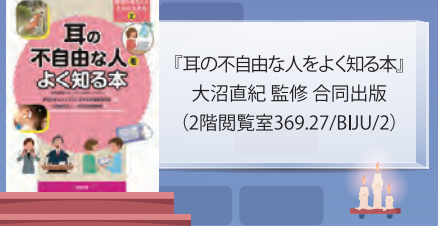
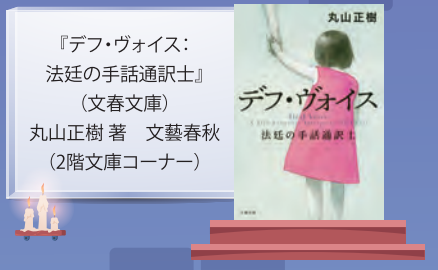
みなさんにとって身近な先生や職員の方々に人生で感銘を受けた本を選んでもらい、オリジナルの本棚を作っていただく企画です。先生方には動画でメッセージも寄せていただきましたので、そちらもお楽しみ下さい。



『ローカル線で行こう!』  
(講談社文庫)  
真保裕一著 講談社  
(2階文庫コーナー)



『ロスコ』  
Mark Rothko  
(マーク・ロスコ)画  
講談社  
(3階閲覧室  
708L/GEND/4)



『恋文の技術』  
(ポプラ文庫)  
森見登美彦著 ポプラ社  
(2階文庫コーナー)

聴覚障害教育がご専門の高井先生の本棚は、聴覚障害や片耳難聴のことについて、もっとみなさんに知ってほしいという先生の思いがあふれるラインナップでした。また、広島カーブのファンということで、カーブグッズも本棚に並びました。

原子核論や宇宙物理がご専門の相場先生ですが、一般小説、マンガ、映画、仏教入門、科学読み物など、幅広いジャンルの本を紹介して下さいました。先生の守備範囲の広さが窺える本棚となりました。

ファッションデザインがご専門の宮原先生。本棚のテーマは「服を着るように本を読む。」先生のクローゼットのような本棚となりました。宮原先生ご考案の三重県名張市のご当地キャラクター「ひやわん」も本棚に並びました。ひやわん公式サイト




福祉リハビリテーション学科  
言語聴覚専攻  
たかい さおり  
高井 小織 先生  
2023年4月~7月




ライフデザイン学科  
あいば ひろかず  
相場 浩和 先生  
2023年7月~11月




キャリア形成学科  
みやはら ゆきこ  
宮原 佑貴子 先生  
2023年11月~2024年3月

マナブー  
学Booo②

## 本×図書館サークル「ビブリオフィリア」

図書館や本を自由にたのしんでほしいという思いから「ビブリオフィリア」の活動をしています。

2023年度メンバーは学生9名、教職員3名で活動しました。

### 7月 #学生選書ツアーに丸善京都店に行きました。

図書館に置く本を学生目線で選んでもらう企画です。各自が気になる本を手に取り、表紙や帯を目にしながらか、選んでいきます。他の人が選んだ本も読んでみたい!ワクワクした!という感想でした。

### 12月 #学生選書フェアを開催しました。

気になる小説や興味がある分野など、選んでもらった約60冊の中からメンバーが「読んでほしい!」と特に思った本のコメントを自分のことばで書いて本と一緒に展示しました。



心の悩みを書いたエッセイや聴覚障害の女の子の話、ほっこりしたいときに読みたい本、ホラーや占いの本などもあります。

### 12月 #本のポップを手作りしました。

色画用紙やマジックを使って和気あいあいとみんなで作りしました。本の内容をイメージしながらデザインを考え、おすすめのポイントを書いてカラフルなポップが出来上がりました。学生選書コーナー横に並べています。



### 2月 #“本屋さん巡り”をしました。

まずは子どもの本専門店きんだあらんどを訪れました。美しいたくさん絵本に囲まれて、みなさんほっこりした感じでした。

そこから10分ほど歩いてブックカフェMAX1921へ。店主の方がポーランドに滞在した経験があり、ポーランドの家庭料理をいただきながら本を読める空間でした。秘密基地のような地下書庫もあり、珍しい本を見つけました。

それから、電車に乗り、出町商店街の本屋さん CAVA (サヴァ) BOOKSへ。カフェと書店が1階にあり、2階が映画館でした。食事をしているお客さんを見下ろせる場所に本棚があるのですが、横並びになって本を探しました。



最後に恵文社一条寺店に行きました。レトロな雰囲気の本だけでなく、雑貨や小物なども販売していました。本を見つけに行くのではなく、美術館のように並べている本をずっと順番にながめていくような感覚を楽しみました。

みなさん、気に入った本をそれぞれのお店で購入して帰宅となりました。読んだ本の感想を皆で話し合える機会を持ちたいです。



「葛野の鐘」は図書館の屋上にある鐘楼で、葛野の地に朝夕鳴り響いています。そこから、創刊時の図書館長が命名されました。

### 編集後記

図書館報「葛野の鐘」第31号をお届けします。ご寄稿いただきました皆様には心より御礼申し上げます。昨年は図書館の利用に関するアンケートを実施し、皆様から貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。館長からのメッセージにもあったように、スタッフ一同、AIに負けない心の通った、より良い図書館を目指していこうと思っております。今後とも図書館をどうぞよろしくお願い申し上げます。表紙は、昨年に引き続き、ザック先生ことストリックランド ザッカリ マーカス先生のイラストです。先生からイラストに込められたメッセージをいただきました。本はあなたの可能性をひろげてくれます。“Books can teach us anything. How to think about the world. How to think about ourselves. They can even teach us how to love. The more you read, the more perspectives you can understand. The more variety you have in your reading, the more connections you can make to yourself and to the world.”

図書館 HP



葛野の鐘 第31号 2024年4月発行

京都光華女子大学図書館

〒600-8685 京都市右京区西京極葛野町 38

☎ (075)-325-5399 ✉ lib@mail.koka.ac.jp

図書館 X

